

1 ごみの排出・処理状況

(1) ごみの排出状況の一覧

	令和3年度	令和4年度	対前年度※
ごみ総排出量	227.0万トン	222.4万トン	△2.0%
事業系ごみ排出量	49.2万トン	49.6万トン	+0.7%
生活系ごみ排出量	169.9万トン	165.2万トン	△2.7%
家庭系ごみ排出量	142.0万トン	138.4万トン	△2.5%
集団回収量*	7.9万トン	7.6万トン	△3.3%
県民1人1日当たりのごみ排出量	841グラム	825グラム	△1.9%
県民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	526グラム	513グラム	△2.5%
人口	739.0万人	738.6万人	△0.1%

*市町村による用具の貸出し、補助金の交付等で市町村に登録された住民団体によって回収された量

※端数処理により、対前年度の計算が一致しない場合があります

(2) ごみの処理状況の一覧

	令和3年度	令和4年度	対前年度※
リサイクル量	54.8万トン	54.3万トン	△1.0%
リサイクル率	24.2%	24.4%	0.2ポイント
最終処分量	8.6万トン	8.4万トン	△2.0%
県民1人1日当たりの最終処分量	32グラム	31グラム	△1.9%

※端数処理により、対前年度の計算が一致しない場合があります

2 施設整備状況

(1) ごみ焼却施設の状況

- ・ 県内市町村の稼働施設数 45 か所 (処理能力 9,102 トン/日)
- ・ うち、発電施設を有する施設 19 施設 (発電能力 9.5 万 kW)

(2) 最終処分場の状況

- ・ 最終処分量 8.4 万トン/年
- ・ 最終処分場の残余容量 (令和 4 年度末) 162 万 m³
(うち県環境整備センター 92.4 万 m³)

※ 上記の残余容量は、約 23 年分の最終処分量に相当します

3 廃棄物処理事業経費の状況

年間の県民 1 人あたりのごみ処理費用は 15,788 円で、前年度に比べて 10.8% 増加しました。

	令和 3 年度	令和 4 年度	対前年度※
ごみ処理費用	1,053 億円	1,166 億円	+10.8%
(主な費用)			
処理・維持管理費	861 億円	917 億円	+6.4%
建設改良費	150 億円	202 億円	+34.5%
県民 1 人あたりのごみ処理費用	14,243 円	15,788 円	+10.8%

※端数処理により、対前年度の計算が一致しない場合があります

4 埼玉県の実施

県では、生産活動や消費活動などのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図る経済活動である「サーキュラーエコノミー（循環経済）」の実施を推進しています。

具体的には、サーキュラーエコノミー型ビジネスモデルの創出や廃棄物処理業者のリサイクル技術向上を図るため、県内中小企業等を支援しています。

また、浦和レッズ等と連携し、埼玉スタジアム 2002 でペットボトルの分別回収・再商品化の実証実験や選手を起用した普及啓発を行っています。

サーキュラーエコノミーの推進は、これまで焼却や埋立をしていた廃棄物を原料や商品に循環させていくことで、ごみ処分量の削減につながるだけでなく、天然資源の消費削減による生物多様性の保全や温室効果ガスの削減など、環境負荷の削減にもつながるため、今後も県民、企業など様々な主体と連携し、必要な施策を講じてまいります。

5 県民の皆様へのお願い

県民一人一人がごみの削減やリサイクルを意識したライフスタイルを実践していただくことが重要です。食品ロスを減らし、使い捨てプラスチック製品の使用を控えるとともに、リサイクルできるごみは分別をしっかりと行うなど、できるだけごみを出さないライフスタイルを心掛けましょう。